

令和4年度「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」及び
「With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究」
公募説明会におけるご質問と回答について

日頃より、日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）の活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和4年5月10日に開催した公募説明会でお寄せいただきましたご質問について、回答を整理し、一覧にまとめました。ご参照いただけますと幸いです。

1. 「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」「With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究」
両事業に関するご質問

	ご質問	回答
1	申請者 EDU-Port 事業の契約主体を海外子会社（非日本企業）とすることは可能か。	「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」については、公募要領に記載の要件を全て満たす機関であれば、海外子会社（非日本企業）のご応募も可能です。 (要件については、応援プロジェクトの公募要領の項目2. 対象機関をご覧ください。)
2	申請内容 「応援プロジェクト」及び「With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究」の両方に、同じプロダクトで申し込むことは可能か。	「応援プロジェクト」及び「With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究」の両方に応募することは可能です。
3	支援内容 具体的にどのような支援をしてもらえるのか。	公募要領末尾の別紙「本事業/調査研究の採択機関が得られる支援例・メリット」を参照ください。

4	<p>対象地域 対象地域はアフリカに限定か。</p>	<p>「With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究」については、アフリカ諸国限定です。応援プロジェクトについては、対象地域は限定していません。</p>
5	<p>その他 JICA の民間連携事業との差は何になるか。支援金額などの形式的な差分よりも、EDU-Port ならではの Pros and Cons は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • EDU-Port では、掲げる 3 つの目標「日本の教育の国際化など教育の質的向上」「相互理解の促進と国際社会への貢献」「日本の経済成長への還元」のうち、特に「日本の教育の国際化など教育の質的向上」に重点を置いています。 • 対象国は途上国に限定しておらず、「支援する側」「支援される側」という関係性を越え、「日本型教育の海外展開」を水平的で双方向の学びの機会と捉えています。
6	<p>その他 JICA の民間連携事業との重複応募は可能か。</p>	<p>可能です。経費支援を伴う調査研究について、他事業と組み合わせて実施される場合は、それぞれの事業費の混在や二重払いは認められません。また業務計画書や EDU-Port 報告書には、他団体から助成を受け実施する（した）活動と EDU-Port として実施する（した）活動の区分が明らかとなるようご記載ください。</p>

2. 「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」事業に関するご質問

	ご質問	回答
1	<p>カウンターパート 相手国カウンターパートの協力確保が見通されていることが応募の必須要件であるが、カウンターパートを拡大することを目的としたプロジェクトは支援対象となりうるか。</p>	<p>現時点で既に中核となるカウンターパートがいらっしゃるのであれば、ご応募可能です。</p>

3. 「With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究」事業に関するご質問

	ご質問	回答
1	<p>支援経費 支出可能な経費の費目は何か。</p>	<p>（様式2）経費計画内の【経費計上の留意事項】をご参照ください。なお、審査の結果、計上された費目がそのまま認められない場合もあります。</p>
2	<p>対象地域 アフリカとは、アフリカ大陸を指すのか。</p>	<p>外務省の定義による「アフリカ」に拠ります。外務省 HP をご参照ください。https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/africa.html</p>
3	<p>対象地域 アフリカの国と他地域の国を複数国あわせて応募は可能か。</p>	<p>可能です。ただし、活動対象はアフリカがメインであることが求められます。</p>

以上